

平成29年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	小林健治
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3518	
事務事業名		4197 基盤整備促進事業										
所 属		200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策		05012100 農業の活性化										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費										
	事業	050000 基盤整備促進事業										
事業目的						事業概要・効果						
基盤整備事業により、果樹等の集出荷時の荷傷み防止、機械化による合理化を促進し、農家経営の合理化・安定を図る。						果樹主体の須坂市の農業振興のため、集出荷時の荷傷み防止・機械化を促進するための基盤整備事業を実施することで、須坂市農業の経営の合理化・安定化を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
井上地区 村石地区	沼目地区 村石地区
平成29年度 予定	平成30年度 予定
沼目地区 村石地区	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		12,298	31,200
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	6,018	15,300
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		6,280	15,900
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	4,331.4	3,609.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,331.4	3,609.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.7
総額		16,629.4	34,809.5

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,456	設計業務委託
15節 工事請負費	3,608	農道整備工事
19節 負担金補助及び交付金	123	県土地改良連合会賦課金
その他	5,111	用地・補償費

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,500	測量設計業務
15節 工事請負費	29,500	農道整備工事
19節 負担金補助及び交付金	200	土地改良連合会賦課金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	果樹等の集出荷時の荷傷み防止、機械化による合理化など、農家経営の合理化・安定化促進につながる。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	同上	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	同上	

振り返り（決算年度の取組み課題）

農業経営の合理化、安定化を図るためにも、基盤整備促進事業は必要不可欠な事業である。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
農業生産基盤の整備により生産性を高め、農業経営の合理化・安定化を図るため、事業を計画的に進める。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
作業の効率化、集出荷時の荷傷み防止等、農家の経営合理化の促進を図るため、農業基盤整備を計画的に進めていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	